２０２３年度

宇都宮共和大学シティライフ学部

講師派遣制度のご案内

学べば愉快だ宇都宮
UTSUNOMIYA

【テーマ一覧】

社　会　生　活		
自転車は未来を救う LRTがまちを変える 「住めば愉快だ宇都宮」 身近な居場所づくりとコミュニティ 子どものまちづくり参画	北欧の消費者保護政策 ～スウェーデンの消費者オンブズマン制度を中心として～ 命を守るコミュニティづくりと共有地の悲劇 人工知能（ＡＩ）によって人間の仕事はなくなってしまうのか？	社会から見る人間の行動 Uターン促進のために ～心理調査の観点から～ 市民社会と法 ～18歳になると何が変わるの？～ 裁判員制度から見る刑罰の意義
経　　済		
景気の見方・考え方 ふるさと再発見のマーケティング	経済学の考え方 ～日常生活を考えるヒント～ 簿記会計世界へのいざない	消費の対象としての「外見」 ～ジェンダーの違いによる外見と自己評価の関係を考える～ 円高・円安と日本経済
教　育　・　教　養		
人権問題・人権教育 ～その歴史と現状と課題～ 全国学力・学習状況調査から見える子供の活用力	アンケート自由記述項目のテキストマイニング分析 地方議会会議録を見る	昭和～平成の新語流行語 社会人にも役に立つ教育心理学

UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.
宇都宮共和大学

社会生活	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概　　要
	特任教授 **古池 弘隆** ■都市と交通	自転車は未来を救う 	身近で手軽な乗り物である自転車がポストコロナの時代の今世界中で注目されています。地球温暖化の原因となっている自動車に代わって，環境にやさしく健康的な乗り物として，21世紀の都市交通における重要な役割が求められています。宇都宮市でも「自転車のまち宇都宮」を推進しています。この講義では，外国での先進事例を紹介し，最近のわが国における自転車交通の課題とその解決策について考えてみたいと思います。
		LRTがまちを変える 	宇都宮では，日本で初めてのLRT（新世代路面電車）の工事が進んでいます。日本の多くの地方都市では，慢性的な交通渋滞や都心部の空洞化など過度の自動車依存の弊害が深刻な都市問題を引き起こしています。一方，世界の多くの都市では，LRTなどの公共交通機関を導入して都市の活性化に成功しています。今後ますます高齢化が進むわが国の地方都市での持続可能なまちづくりについて，LRTを中心に考えてみましょう。
		「住めば愉快だ宇都宮」 	これからの人口減少時代において，都市間競争に勝ち抜いて100年先まで発展し続けるまちを創っていくためには，市民が自分のまちに誇りを持ち，外の人々からは憧れを持って見られるまちを目指していかなければなりません。そのためには，都市のブランドを推進してまちのイメージアップを図っていくことが必要です。この講座では，現在進められている宇都宮市のブランド戦略とその活動について紹介します。
	教授 **陣内　雄次** ■都市政策論 ■住宅論	身近な居場所づくりと コミュニティ 	少子化，超高齢化のなか，人々の交流の場である身近な居場所づくりが地域コミュニティにとって重要になっています。子ども食堂，コミュニティカフェ（レストラン）など，多様な取り組みが各地で進み，一定の成果を挙げていますが，継続性や運営の難しさなどの課題もあります。多様な事例を紹介するとともに，地域コミュニティにおける居場所づくりの在り方について考えます。
		子どものまちづくり参画 	2011年の東日本大震災後，「まちづくり」という言葉を見聞きしない日はないのではないでしょうか。それほど「まちづくり」が，防災（減災）という意味合いも含めて私たちの日々の生活にとって身近なものになっています。そのような中，子どもがまちづくりに参画する事例が全国で増えています。栃木県における取り組みを紹介するとともに，子どものまちづくり参画の重要性，今後のあり方と可能性について解説します。
	教授 **内藤 英二** ■経営学総論 ■マーケティング論	北欧の消費者保護政策 ～スウェーデンの消費者 オンブズマン制度を中心として～ 	スウェーデンの消費者オンブズマン制度は，製品安全性から通信販売にいたる広範囲の各種根拠法に照らして，消費者被害に関わる苦情の受付・調査，調停，指導，命令等を行い，最終的には当事者を告発する検察官の役割をも果たす権限を与えられています。消費者オンブズマンは「消費者庁」の長官を兼務しており，この「消費者庁」の組織形態は，わが国の「消費者庁」と消費者保護政策にも少なからぬ影響を与えています。

教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概　　要
教授 **和田 佐英子** ■財政論 ■都市コミュニティ論	命を守るコミュニティづくりと共有地の悲劇 	多発する大規模な自然災害の前では人間の力は無力であり，我々の命は自然の脅威の前にいとも簡単に奪われてしまうことを目の当たりにすることがあります。しかし，そうした事態に直面しても命が守られる場合もあるし，そうでない時もあります。そしてそれを決めるのは，当該地域の「コミュニティの力」によることも多いです。本講演では，地域の人の命を守り続けることのできるコミュニティづくりとその担い手問題について考えます。
教授 **高丸 圭一** ■情報社会とAI ■データサイエンス入門	人工知能（ＡＩ）によって人間の仕事はなくなってしまうのか？ 	人工知能の発展により人間の仕事が奪われてしまうというニュースを聞いたことはあるでしょうか。将棋でプロ棋士に勝ったり，大学入試に合格できたりと，人間の能力を超える人工知能が完成しつつあるように見えます。「人工知能」と呼ばれているものがどのようなものであるかを解説し，人間と人工知能の共存について考えます。
准教授 **小浜　駿** ■教育心理学 ■社会学入門	社会から見る人間の行動 	おそらく，ほとんどの人が「自分の行動は自分の意思で決めている」と考えると思います。その考えは，ある部分では正しいと言えるでしょう。しかし，人間の行動が他者や周囲の環境に影響されることも確かです。隣にいる人や周囲の騒音，はては社会制度まで，私たちが影響を受けているさまざまなことがらについてご説明します。
	Uターン促進のために ～心理調査の観点から～ 	Uターン促進のために指摘されてきたことは，理屈はわかるが実現困難なことが多い。東京の若者の意見を乱暴に要約すると，故郷に給料の高い会社があるなら帰る，活気のある街なら帰る，といったものです。しかし，経済も人口も心もとないからこそ，Uターンが必要なのです。どうにも，「卵が先か鶏が先か」といった議論が多いようです。 こうした風潮に一石を投じるため，心理調査の観点から若者の特徴を明らかにしてみます。心がけを変えることは，きっと経済をよくするよりは簡単なはずです。
専任講師 **永井　紹裕** ■法学入門 ■憲法	市民社会と法～18歳になると何が変わるの？～ 	民法改正により2022年4月から成年の年齢が18歳に引き下げられました。これにより，民事上は早ければ高校3年生の時点で大人と同じ権利を有し，義務を負うことになります。でも，何の権利を持って，どんな義務を負うことになるのか，わかりにくいかもしれません。そこで，本講では，18歳になると法律上何が変わるのかについて具体例を交えて，見ていきたいと思います。
	裁判員制度から見る刑罰の意義 	市民が刑事裁判に参加する裁判員制度は，2009年5月21日に始まりました。でも，刑罰って何のためにあるのか，刑が重すぎるとか軽すぎるとかどうやって考えるべきなのか，精神鑑定って何のためにやっているの，などの疑問をお持ちの方は多いのではないでしょうか。このように，刑事裁判について十分理解している方は少ないと思います。そこで，具体的な事件をいくつか取り上げ，刑罰の意義や刑事裁判（刑事法）の原則や考え方を皆さんで考えていきましょう。

経済	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概　　要
	教授・学部長 **田部井 信芳** ■世界経済論 ■経済学入門	景気の見方・考え方	経済はグローバル化し，世界経済は相互依存の関係にあります。日本の景気も自国だけ考えていたのでは説明できません。グローバル化時代の景気の見方について説明し，日本経済や世界経済の今後について考えます。
	教授 **内藤 英二** ■経営戦略論 ■マーケティング論	ふるさと再発見の マーケティング	消費者の必要や欲求を発見し，それを深く掘り下げ，商品やサービスを計画・開発し，価格を付け，包装を施し，広告や宣伝を実行し，使用する消費者まで届ける，という一連の活動を「マーケティング」といいます。私たちの身の周りにある商品やサービスは，マーケティングの活動によって生まれたといっても過言ではありません。本講座では，こうしたマーケティングのさまざまな手法を使って，まちづくりや地域の活性化に役立てる方法を，受講者のみなさんとご一緒に考えていきます。
	教授 **大石 和博** ■経済の基礎 ■ミクロ経済学	経済学の考え方 ～日常生活を考えるヒント～	なぜ，寿司屋には特上，上，並があるのだろう。なぜ，タクシーは動かなくてもメーターが上がるのだろう。買った本がなかなか捨てられない。日常生活ではさまざまな疑問や悩みがありますね。本講座では，日常生活での素朴な疑問を出発点として，みなさんと一緒に「経済学的なものの見方」について考えてみたいと思います。
	准教授 **薄井 浩信** ■簿記初級 ■財務会計論	簿記会計世界へのいざない	現代社会において、あらゆるビジネスパーソンに必要となってきている簿記会計に関する歴史、具体的な活用事例について学びます。そして、本講座の受講を機会として、簿記会計に興味関心を持っていただければと思います。また、簿記会計関係の資格は、日本商工会議所主催の「日商簿記検定試験」をはじめ数多くの資格が存在しています。その一つ一つの内容や受験方法などについて紹介します。
	准教授 **北浦 さおり** ■消費者行動論 ■商品企画論	消費の対象としての「外見」 ～ジェンダーの違いによる外見と自己評価の関係を考える～	日常生活で消費しているものは，手に取れる商品やお金を払って得られるサービスだけではありません。私たちは世の中にある，ありとあらゆるものを消費しています。例えば，私たちの見た目，外見も日常的な消費の対象であると言えます。外見を消費するとは実際にどのようなことなのか，外見を消費することにはどんな問題が存在するのか，そして，外見を消費することは日常生活のどんな側面に影響を与えているのかなどについて，ジェンダーの視点を取り入れながら考えていきます。
	専任講師 **今　喜史** ■日本経済論 ■経済政策論	円高・円安と日本経済	輸入品をはじめとするさまざまな商品の値上げが行われる理由のひとつに，1ドル＝〇〇円という為替レートの変化があります。では，為替レートがこれから円高・円安のどちらへ動くのか，どうすれば正しく予想できるのでしょうか。最近の為替レートと日本経済の関係について，経済学から得られた知見をご紹介します。

教育・教養	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概　　要
	教授 **寺内 孝夫** ■社会科教育法 ■教職実践演習	人権問題・人権教育 ～その歴史と現状と課題～	憲法が保障する基本的人権が尊重された平和で豊かな社会を築いていくことは，私たち一人ひとりの共通の願いです。しかしながら，わが国の人権に関する現状を見ますと，今なお不当な差別や偏見が存在し，国際化，情報化，少子高齢化等に伴う社会構造の複雑化や価値観の多様化の中で，新たな人権問題も生じており，人権教育の果たす役割はますます重要になってきています。私の人権教育行政や学校現場での実践，市町での家庭相談員（児童虐待対応）等の経験を踏まえながら，差別や偏見をなくし，相互の尊敬に基づいた真の共生社会の実現のために何ができるのか，一緒に考えてみたいと思います。
	教授 **田上 富男** ■生徒･進路指導論 ■道徳教育の指導法	全国学力・学習状況調査から 見える子供の活用力	平成19年度に43年ぶりに復活した全国学力･学習状況調査は，子供たちが学んだ知識･技能を活用して課題を解決する思考力･判断力･表現力等を問う問題が出題されています。この活用力は，これからの21世紀を生きる子供たちに不可欠な能力であって，全国学力･学習状況調査の問題は活用力とは何かを，具体的モデルとして示しています。これまでの調査問題から活用力とは何かを明らかにしたいと思います。
	教授 **高丸 圭一** ■データ分析技術 ■情報システム論	アンケート自由記述項目の テキストマイニング分析	アンケート調査は顧客満足度などを評価する際に重要な役割をもつものです。しかし，アンケートの自由記述項目は（有用な意見が含まれているにもかかわらず）統計処理から除外され，ざっと眺めるだけで，そのまま放置されてしまうことも少なくありません。本講演では自由記述をテキストマイニング分析することにより，回答の傾向を把握したり，回答に含まれるキーワード間の関係を抽出する方法について解説します。
		地方議会会議録を見る	近年，地方分権や地方創生などの議論が盛んになっており，地方政治が注目を集めています。議会における首長や議員の発言がすべて記録された会議録はインターネットで公開され，誰でも居ながらにして日本全国の地方議会での発言を読むことができます。本講演では，インターネットに公開された地方議会会議録の見方について解説します。次に，横断的な分析から読み取れる議会発言の言語的特徴と政治課題の特徴について明らかにします。
	教授 **松田 勇一** ■日本語基礎 ■日本語上級	昭和～平成の新語流行語	令和の時代に入り，昭和･平成が懐かしく感じることが多くなったのではないでしょうか。「東京オリンピック1964」，「オイルショック」，「バブル景気」等，歴史上の出来事としては知っていても，その頃どのような文化があったのかは忘れてしまいがちです。当時の暮らしを新語･流行語を通じて思い出して（若い方は「学んで」）みましょう。
	准教授 **小浜　駿** ■教育心理学 ■心理学入門	社会人にも役に立つ教育心理学	教育心理学と聞くと，学校で役立つ，あるいは子どもに使う知識というイメージが強いのですが，大人に対しても有効な知識はたくさんあります。どれだけ叱咤激励しても頑張ってくれない社員のやる気を出させる方法や，効果的なリーダーシップスタイル，会議が十分に機能しない理由など，産業場面でも役に立つ知識をご紹介します。

講師派遣制度のご利用について

宇都宮共和大学は，地域の市民・企業の皆様方の学習意欲に応えるべく，シンポジウム・講演会，セミナー，市民講座などを開催してまいりました。これらの開催，実施に当たりましては，市町村，商工会議所・商工会等の行政や産業団体の皆様方にご協力，ご支援をいただきました。厚く感謝申し上げます。

また，**「宇都宮共和大学シティライフ学部講師派遣制度」**も，これまで多くの行政・企業・団体等の皆様方にご活用いただき，ご好評を得てまいりました。引き続き，本制度をお気軽にご利用くださいますよう，よろしくお願い申し上げます。

お申し込み方法

①講師派遣の講座等について
市町村および商工会議所･商工会等産業団体，市民団体，事業者等が開催する講座等に，本学の教員を講師として派遣いたします。

②テーマと派遣講師について
記載以外のテーマをご希望の場合は，ご相談ください。講師のプロフィールについては，『宇都宮共和大学研究者名鑑』をご参照ください。
http://www.kyowa-u.ac.jp/common/disclosure/2-1professor_city.pdf

③講師派遣費用について
講師派遣費用（講師謝金，交通費等）は，お申し込み団体の規定に基づきます。本学では，一律に設定いたしておりません。

④お申し込み方法について
所定の申込用紙に必要事項をご記入の上，右記にお申し込み下さい。申込用紙は，本学ウェブサイトからダウンロードしてください。
http://www.kyowa-u.ac.jp/laboratory/guide.html

【お申し込み･お問い合わせ先】

宇都宮共和大学
都市経済研究センター

■所在地　〒320-0811
栃木県宇都宮市大通り1丁目3番18号

■電話番号　028-650-6611

■ＦＡＸ番号　028-650-6612

■電子メール　rcenter@kyowa-u.ac.jp

■WEBサイト　http://www.kyowa-u.ac.jp